

令和4年度第3学期終業式式辞（放送）

おはようございます。第3学期の終業式、令和4年度の締めくくりの日を迎えました。穎明館生の皆さんにとって第3学期、そして令和4年度はどうだったでしょうか。昨年4月、あるいは今年の1月に抱いた「初心」に立ち返ってみて下さい。思い描いた自分自身の成長や変化はありましたか。「初心」は達成できていますか。式終了後、最後のHRでの担任の先生からのメッセージもきちんと受けとめてください。不足については補い、ずれた方向は修正し、3月と4月の間にある「年度の境」をしっかりと自分自身で乗り越えましょう。

校長として私からは、まずは3年生、39期生の皆さん、「穎明館中学校卒業おめでとう」とお伝えいたします。4月からは高校生。高校でも、目標を高くもって努力を続けて下さい。中学校卒業証書は、後ほどHRで担任の先生からお渡しします。

さて、穎明館の教育目標は「国際社会に羽ばたく真のリーダーの育成」です。先日の36期生、高校卒業式の式辞では、「グローバルリーダーたれ」と、次のように述べました。

今日、よく言われるように人類が直面している課題の多くには、決まった正解がない。

3年間続いてきたコロナ対応をはじめ、地球温暖化、人口爆発、ロシアのウクライナ侵攻にみられるような紛争の数々。国内でも少子高齢化や経済的な格差、地方都市の衰退等々、解決策を考える時、決まった正解のない課題が山積している。こうした決まった正解のない課題に対して、自分で考え、自分で解決策を打ち出す高い知性を養い続けてほしい。

また、今日では、国内、海外問わず、どこに住んでいても、どのような仕事に就いていても、グローバル化の波に対応できるような多様性への理解が必要となる。視野を広げて、お互いの国籍、性、民族や言語、宗教や文化、価値観等の違いを理解し、尊重することが大切である。

皆さんが、「グローバルな視野に立って、人類社会のために何らかの形で貢献しよう」と考えるならば、立派なグローバルリーダーである。国内、海外問わず、どこにいても、どんな活動をするにしても、広い視野に立って、世のため人のために役に立とうとする気概を忘れずに持ち続けてほしい。「グローバルリーダーたれ」。

1年生から5年生の皆さん、皆さんは私のメッセージに「イエス」と答えてくれますか。ここで日本人女性初の国際連合事務次長で、軍縮問題を担当されている中満泉さんのお言葉を、『未来をつくるあなたへ』（岩波書店）から少々、紹介いたします。尚、私が式辞で紹介する書物については無窮館で揃えていただくことにしました。ぜひ手に取ってみてください。

私は日本で生まれてごく普通の家庭に育ち、21歳までパスポートも持っていませんでした。でも、大学でアメリカに留学したことをきっかけに国連（国際連合）で働くことを目指し、気づくと人生の半分以上を外国で暮らすようになりました。

今でも世界には1万4000発以上の核兵器があります。これでは核兵器の廃絶なんて無理ではないか、という気持ちになるかもしれません。実は私も、時々、そうやって落ち込むことがあるのです。戦争をしているような現場での仕事もそうでした。一生懸命にがんばっても、たくさんの人々が犠牲になっていく……。

そんな時私は、世界の歴史の中で、これまで何度も「不可能」と思われてきたことが実現した例を思い起こします。

例えば19世紀までは当たり前だった奴隷制度をなくした運動や、20世紀の初めごろまでは考えられもしなかった女性が選挙に参加することが、今は当たり前になったこと。そして、アメリカでも1950年代から1960年代に公民権運動という黒人差別をなくしていく大きな社会運動が起こりました。

どの場合も「こんなの、おかしいんじゃないの」と思った市民たちが声を上げたのがはじまりです。世界は必ず変えられると私は思っています。

穎明館生の皆さん、「世界は必ず変えられる」——この強い信念に希望の明日を見出すのは私だけでしょうか。「世界は必ず変えられる」は「自分は必ず変えられる」に通じませんか。いや、「自分を変えること」から「世界を変えていく」と言えるかもしれません。

先を見通せない不安、大きな変化を恐れる気持ちは誰もが抱くことです。でもだからこそ、理想や将来の希望が、私たちの行動の原動力になっていくのだと思います。「変わる自分」が「世界を変えていく」……私は皆さんとともに作る未来を楽しみにしていきます。

結びになりますが、今年の卒業生、穎明館36期生は過去の先輩方の背中を追いかけて、大学受験でも大変頑張りました。「切に思ふことは必ず遂ぐるなり」——道元禅師の言葉を胸に、覚悟を決めて志望を貫いた36期生に、私は敬意を表したい。36期生は、高い目標実現に向けて誠実に努力した学年、先生方と強い信頼関係で結ばれた学年、国公立後期試験という最後の最後の機会まで粘り強く挑戦し続けた学年でした。

5年生以下、皆さんの学年はどうですか。愛される学年であってほしい。そして先輩方に後輩の皆さんも続いてください。穎明館生皆の大いなる成長を心より期待しています。

以上、令和4年度穎明館中学高等学校第3学期終業式式辞といたします。